

事務事業名	一般廃棄物最終処分場管理事業		会計	一般会計	実施区分	継続
			事業種別	経常	開始	終了
H29作成課等名	環境課	H29係等名	処分場施設係	H28担当課等名	環境課	
基本計画上の位置づけ	政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり			
	施策	56	廃棄物の減量と適正処理			
目的	対象(誰・何を)	・市内で発生する家庭系一般廃棄物(不燃性埋立ごみ、焼却残渣)			指標名及び単位	28年度数値
	意図(どういう状態にするか)	最終処分場の適正な管理を行う			年間埋立廃棄物量 t(単年度)	3242
	向上させたい上位施策の成果指標	成果指標:①ごみの収集量(家庭系一般廃棄物)(t)			最終処分場計画流入水質(設計基準BOD値250mg/L)	250
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画
	成果指標	埋立総容量 (総埋立廃棄物量+総覆土量)m3(累計)		45314	29425	51377
	成果指標	水質検査放流水BOD値(1回/月検査し、最大値を排出基準60mg/L以下とする)		60	60	60
定性目標						備考(指標変更など)
事業概要	飯田市最終処分場において、市内一般家庭から排出される埋立ごみの円滑な受入と適正処理を行う。また、浸出水処理施設において、基準値内で河川放流をするため適正処理を行う。					
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標
	最終処分場の運営、整備、維持及び埋立管理 1 埋立ごみの減量化を図る 2 埋立ごみに含まれる資源物の分別を行う 3 最終処分場の浸出水処理施設の適正な委託管理 4 埋立量及び水質検査結果のホームページでの情報公開 5 周辺環境整備 旧最終処分場の維持管理 1 浸出水処理施設の適正な委託管理 2 場内及び周辺の環境整備			1 埋立量 2 資源化量 3 放流・地下水の検査回数 4 公開回数 5 実施回数 1 放流・地下水の検査回数 2 箇所数		1 容量 6,063立方メートル 2 重量 50t 3 回数 12回(毎月1回) 4 回数 12回(月更新) 5 回数 4回 1 回数 12回(毎月1回) 2 箇所 2箇所(イタチガ沢・毛呂窪)
事業コスト	27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足	
事業費計(千円)①	63,580	65,549	61,850	0	(そ)最終処分場搬入ごみ処理手数料 4,775千円、ごみ処理手数料 10,607千円 (そ)諸収入 382千円	
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他	9,704	14,230	15,764			
一般財源	53,876	51,319	46,086			
人件費計(千円)②	6,437	6,437	6,437	0		
正規職員所要時間	1,800	1,800	1,800			
臨時職員所要時間						
総事業費①+②	70,017	71,986	68,287	0		
事業内容・目標達成状況の振り返り	・実績埋立累計容量 29,425立方メートル / 実施計画埋立累計容量 45,314立方メートル ≒65% 計画より立量が抑制できていることにより、延命化の目標はクリアしている。運営管理においても、事故無く、排出水水質も基準をクリアしている。地元との連絡協議会において問題解決を図り、円満良好な関係を維持できている。機器の修繕費用が経年により増加している。					
改革改善の考え方	①問題点	施設全体の無事故運営及び放流水質の基準以下維持。埋立量の減容による延命化。維持管理費の経年増				
	②改革提案	埋立状況に合わせて事業目的指標の累積容量を残容量及び供用可能残年数とし、水質管理目標値を現状を踏まえた管理値にする。施設等の維持管理中長期計画の策定及びコスト削減。旧処分場の廃止及び跡地利用計画策定				